



2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月14日

上場会社名 ポエック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9264 URL <http://www.puequ.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 采女 信二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 吉本 貞幸 TEL 084 (922) 8551
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績 (2019年9月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	4,701	15.5	182	73.3	202	88.9	154	136.7
2019年8月期第3四半期	4,071	3.3	105	42.3	107	86.4	65	20.6

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 168百万円 (125.8%) 2019年8月期第3四半期 74百万円 (81.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	74.00	73.58
2019年8月期第3四半期	34.00	31.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	8,396	2,067	24.6
2019年8月期	7,981	1,674	20.9

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 2,061百万円 2019年8月期 1,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期 (予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,289	11.6	246	18.5	242	25.2	148	3.7	69.67

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）株式会社ミモト

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年8月期3Q	2,164,900株	2019年8月期	2,037,900株
② 期末自己株式数	600株	2019年8月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2,089,820株	2019年8月期3Q	1,921,685株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染被害が世界中に拡大するにつれ、企業活動や人の移動制限など経済活動が制約され、大きくかつ急な悪化を示しました。こうした影響を受け、未だ収束の兆候が見えない中で、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、安定収益基盤である環境・エネルギー事業において、水処理機器の拡販に注力するとともに昨今の新型コロナウイルスによる感染被害拡大に対応すべく、オゾン装置の拡販を積極的に実施してまいりました。

さらに、今後、発生するかも知れない新型コロナウイルス第2波あるいは、第3波感染被害のほか、新種のウイルス被害の発生をも念頭に、技術開発を加速的に進め、現行のオゾン装置に対して安全面、機能面でさらに進化したウイルス対応製品の開発と市場への投入を目指すこととしました。

防災・安全事業においては、第2四半期では主力のスプリンクラー消火装置「ナイアス」の納期延期が複数発生したことや、有床診療所向けスプリンクラー消火装置の設置補助金枠が今年度は想定以上に低水準であったことなどから、経営成績は低調な推移となりました。しかし、その後の新規開拓営業の成果等により、受注は改善傾向で推移してきたことから、当第3四半期連結累計期間の経営成績は前第3四半期連結累計期間並みまで上昇してまいりました。

動力・重機等事業においては、引き続き受注が堅調に推移していることに加えて、2019年5月に買収した株式会社ミモト（2020年1月に当社子会社株式会社三和テスコと合併）に係る業績が順調に推移しており、M&Aの効果を発揮できていることで、経営成績も順調な推移となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,701百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益182百万円（前年同期比73.3%増）、経常利益202百万円（前年同期比88.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益154百万円（前年同期比136.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（環境・エネルギー事業）

水処理機器及びオゾン装置を含む環境関連機器の順調な販売実績を上げてきたことに加えて、協立電機工業株式会社の買収によるM&A効果を発揮できたことで売上は順調に推移しました。

以上の結果、環境・エネルギー事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は2,227百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益は83百万円（前年同期比60.8%増）となりました。

（動力・重機等事業）

船舶関連及びプラント関連機器の製造受託事業に係る旺盛な需要動向を背景に、既存顧客からの受注が増加しました。また、2019年5月に当社が全株式を取得した株式会社ミモト（2020年1月に当社子会社株式会社三和テスコと合併）の経営成績も順調に推移してきたことで、この成果が上乘せされ順調な推移となりました。

以上の結果、動力・重機等事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,874百万円（前年同期比17.9%増）、セグメント利益149百万円（前年同期比47.7%増）となりました。

（防災・安全事業）

前期から持ち越し第3四半期以降に納期が延期となっていた案件を順次、実績に反映してまいりました。また、関西地区においては病院施設向け、大型のスプリンクラー消火装置「ナイアス」導入に係る新規案件も複数受注、計上したことで、第3四半期において経営成績は改善傾向で推移しました。引き続き、重点営業先である病院及び介護施設に向けた営業促進を図るとともに、将来的に開拓余地が高いと見込まれる水素ステーション向け冷却装置としての需要獲得に注力してまいります。

以上の結果、防災・安全事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は600百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益37百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間期末における総資産は8,396百万円（前連結会計年度末は7,981百万円）となり、415百万円増加しました。

流動資産は4,459百万円（前連結会計年度末は4,189百万円）となり、269百万円増加しました。これは主に、短期貸付金及び前渡金等によるその他の増加384百万円等によるものであります。

固定資産は3,936百万円（前連結会計年度末は3,791百万円）となり、145百万円増加しました。これは主に、土地が150百万円、有形固定資産その他が72百万円増加した一方、投資有価証券が115百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は6,328百万円（前連結会計年度末は6,306百万円）となり、22百万円増加しました。

流動負債は3,350百万円（前連結会計年度末は3,753百万円）となり、402百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少203百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少159百万円等によるものであります。

固定負債は2,977百万円（前連結会計年度末は2,552百万円）となり、424百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加392百万円等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,067百万円（前連結会計年度末は1,674百万円）となり、392百万円増加しました。これは主に、資本金の増加164百万円、資本剰余金の増加164百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月15日の「2019年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,811,463	1,804,001
受取手形及び売掛金	1,627,622	1,546,107
電子記録債権	164,353	152,175
商品及び製品	40,328	54,663
仕掛品	406,124	367,753
原材料及び貯蔵品	16,498	26,925
その他	123,711	508,394
貸倒引当金	△130	△153
流動資産合計	4,189,971	4,459,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	730,336	713,329
土地	1,846,853	1,996,853
その他(純額)	420,011	492,207
有形固定資産合計	2,997,202	3,202,391
無形固定資産		
のれん	8,475	7,823
その他	3,039	6,742
無形固定資産合計	11,514	14,566
投資その他の資産		
投資有価証券	335,390	219,625
その他	451,797	512,085
貸倒引当金	△4,593	△12,225
投資その他の資産合計	782,594	719,485
固定資産合計	3,791,311	3,936,443
資産合計	7,981,283	8,396,311
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	507,472	303,705
短期借入金	1,670,000	1,655,000
1年内返済予定の長期借入金	1,196,249	1,036,453
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	52,449	44,638
賞与引当金	22,579	57,369
その他	284,697	233,712
流動負債合計	3,753,447	3,350,878
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	2,282,967	2,675,210
役員退職慰労引当金	35,955	30,123
退職給付に係る負債	118,360	137,370
その他	95,618	135,193
固定負債合計	2,552,901	2,977,896
負債合計	6,306,349	6,328,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	622,785	787,572
資本剰余金	480,485	645,272
利益剰余金	588,624	641,371
株主資本合計	1,691,895	2,074,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,923	△12,820
その他の包括利益累計額合計	△26,923	△12,820
新株予約権	9,962	6,140
純資産合計	1,674,934	2,067,535
負債純資産合計	7,981,283	8,396,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
売上高	4,071,582	4,701,945
売上原価	3,302,061	3,764,212
売上総利益	769,521	937,733
販売費及び一般管理費	664,318	755,371
営業利益	105,202	182,362
営業外収益		
受取利息	75	658
受取配当金	11,903	4,362
投資有価証券売却益	—	30,193
保険解約返戻金	2,243	17,097
固定資産賃貸料	12,914	12,710
補助金収入	16,777	1,000
その他	14,991	19,378
営業外収益合計	58,905	85,400
営業外費用		
支払利息	24,507	24,032
投資有価証券評価損	15,080	23,861
株式交付費	896	1,032
新株予約権発行費	6,281	—
その他	10,236	16,502
営業外費用合計	57,002	65,428
経常利益	107,105	202,333
特別利益		
固定資産売却益	846	284
負ののれん発生益	—	24,310
特別利益合計	846	24,595
特別損失		
固定資産除却損	12	972
特別損失合計	12	972
税金等調整前四半期純利益	107,939	225,957
法人税等	42,595	71,315
四半期純利益	65,344	154,641
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,344	154,641

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	65,344	154,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,378	14,102
その他の包括利益合計	9,378	14,102
四半期包括利益	74,722	168,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,722	168,744

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式報酬として新株式14,600株の発行を行い、また新株予約権の行使に伴い新株式112,400株の発行を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ164,786千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が787,572千円、資本準備金が645,272千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,897,922	1,589,566	584,094	4,071,582	—	4,071,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,116	—	—	3,116	△3,116	—
計	1,901,038	1,589,566	584,094	4,074,699	△3,116	4,071,582
セグメント利益	52,138	100,933	41,592	194,664	△89,461	105,202

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	1,069
全社費用※	△90,531
合計	△89,461

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,227,260	1,874,180	600,505	4,701,945	—	4,701,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	620	—	—	620	△620	—
計	2,227,880	1,874,180	600,505	4,702,565	△620	4,701,945
セグメント利益	83,860	149,107	37,134	270,101	△87,740	182,362

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	△481
全社費用※	△87,258
合計	△87,740

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

環境・エネルギー事業において、当第3四半期連結累計期間より協立電機工業株式会社の株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は24,310千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。